

4. 国の施策との連携（つづき）

（4）国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

- 令和2年度 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム<社会還元加速プログラム（SCORE）大学推進型（拠点都市環境整備型）>に、（一社）横浜みなとみらい21、神奈川大学、関東学院大学、横浜国立大学、横浜市立大学から成る横浜プラットフォームの事業が採択されたことを受け、令和3年度、産学官による組織間の連携を強化し、「All横浜 街ごとキャンパス」という構想から、仮想の一つの大学として「YOXOカレッジ」を開設。大学発ベンチャー発掘・創出支援体制の整備を進めた。令和4年度より、横浜市、横浜未来機構も参画し、対象を企業の新事業開発プログラムの拡充を目指す。



- 令和3年度 大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援に採択された、Greater Tokyo Innovation Ecosystem（GTIE）に、共同機関として横浜国立大学、横浜市立大学、幹事自治体として横浜市が参画。グローバルで戦える大学発スタートアップの育成と創出を目指し、GAPファンドの設計・運営、アントレプレナーシップ人材育成、コミュニティ形成などを図っている。

（5）JETRO

- スタートアップシティ・アクセラレーションプログラム
令和2年度は3社、令和3年度は3社、横浜市の推薦したスタートアップが参加



- 令和3年度内閣府補正予算 スタートアップ・エコシステム拠点都市機能強化プログラム
ジェトロ横浜と横浜市の連携により、大学・支援機関・企業等のスタートアップ育成支援能力の強化・促進を、海外の有力支援機関の知見を吸収することで実現するプログラムを実施予定。YOXO BOX及び横浜未来機構をそのハブに位置付け、産学公民連携によるエコシステムの構築を目指す。

【横浜市の取組】Ⅳ.民間組織との連携①

1. 民間組織との連携

令和3年3月末に産学公民連携でイノベーション創出を促進する「横浜未来機構」が設立され、令和3年8月に活動を開始。スタートアップ企業や大企業、大学など80者が正会員として、また、横浜市は特別会員として参画。ビジョン「みらいの希望は創造できる。」の実現に向けた10のアクションを掲げ、地域の課題の解決に向けた様々なプロジェクトが始動している。

【横浜未来機構正会員】（令和4年6月現在80者）



2. 民間組織（地域の大企業等）の取組

- (1) 横浜未来機構、みなとみらい21地区の企業等の連携：MINATO MIRAI 21 ACTIVATION PROGRAM (<https://mm21-map.jp/>)
- (2) 相鉄ホールディングス(株)：相鉄アクセラレータープログラム (<https://growth.creww.me/fb0f1750-1aac-11ec-916f-cf7c92e2b0c3.html>)
- (3) 野村不動産：スタートアップ企業向けの成長支援オフィス「YBP Next Stage Office」を展開
- (4) Wework：日本の自治体として初めて、横浜市と包括連携協定を結び、成長するスタートアップ企業に対する優遇制度を創設

3. 民間組織（アクセラレーター等）の取組

【ベンチャー企業支援団体】

- (1) 特定非営利活動法人ベンチャー支援機構MINERVA 理事長 高橋 忠仁
民間主導のスタートアップ支援組織。年200回を超えるビジネスプラン発表会を実施
- (2) 有限責任監査法人トーマツ 横浜事務所
県内での起業家コミュニティ形成を目指し、スタートアップ企業支援に取り組む。
- (3) (一社) 神奈川ニュービジネス協議会 (KNBC) 代表理事 会長 吉原 直樹
新分野の経営者の交流組織。起業家育成に力を入れる。横浜市と連携協定を締結。
令和3年には、横浜で全国大会を開催。

【VC】

- (1) 株式会社TNPパートナーズ 代表取締役社長 呉 雅俊
日本ベンチャーキャピタル協会会長等を経てスタートアップ支援。
- (2) 横浜キャピタル株式会社 代表取締役 早川 賢
地方銀行のグループ企業の強みを生かし、投資事業に取り組む。
- (3) ライフタイムベンチャーズ 代表パートナー 木村 亮介
プレシード/シードステージに特化したインキュベーション投資に取り組む。
- (4) SFCフォーラムファンド 廣川 克也
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスのインキュベーションマネージャー、
SFCフォーラムファンド・ファンドマネージャー。

【アクセラレーター】

- (1) 株式会社アドライト 代表取締役 木村 忠弘
スタートアップ育成専門企業。
横浜市のYOXOアクセラレータープログラムの受託者。
- (2) CONNECT (サンディエゴ)
3,000社以上のスタートアップ支援実績を持つ起業家支援組織。
横浜市との連携で、毎年アクセラレーションプログラムを実施。

【イノベーション人材のコミュニティ】

- (1) YOXOイノベーションスクール・アルムナイ
- (2) 横浜をつなげる30人（令和3年に第1期開始）



- (3) 横浜OneMM
- (4) コワーキングスペース運営者のネットワーク
- (5) YOXOカレッジ起業部（令和4年4月に活動開始）

1. スタートアップ創出・支援の取組

(1) 東京工業大学

- ✓ 令和3年3月、横浜市と「イノベーション創出とスタートアップ支援に向けた拠点形成などに関する連携協定」を締結。令和3年11月、同大学主催の産学連携イベント「Tokyo Tech Open innovation & venture / research festival (TTOP)」に横浜市が出展。
- ✓ 平成18年度より、同大学すずかけ台キャンパスに、起業家向けインキュベーション施設「東工大ベンチャープラザ」を、中小機構が開設。横浜市が入居するスタートアップに対する家賃補助等を行っている。

2. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

(1) 横浜未来機構【再掲】

令和3年3月末に産学公民連携でイノベーション創出を促進する「横浜未来機構」が設立され、スタートアップ企業や大企業、大学など80者が正会員として、また、横浜市は特別会員として参画。ビジョン「みらいの希望は創造できる。」の実現に向けた10のアクションを掲げ、地域の課題の解決に向けた様々なプロジェクトが始動している。

<https://yoxo-o.jp/>



(2) YOXOカレッジ【再掲】

※令和2年度JST 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型（拠点都市環境整備型）
令和3年度より（一社）横浜みなとみらい21、神奈川大学、関東学院大学、横浜国立大学、横浜市立大学が、横浜プラットフォームを形成。産学官による組織間の連携を強化し、大学発ベンチャー発掘・創出支援体制の整備を進めている。その一例として、「All横浜 街ごとキャンパス」という構想から「YOXOカレッジ」を開設。各大学がスタートアップ創出のためのプログラムを提供し、そのプログラムを仮定の1つの大学のカリキュラムのように、YOXOカレッジのウェブサイトで集約して情報発信している。

<https://www.yoxo-college.com/>

- ✓ 令和4年度からは、横浜市および横浜未来機構も参画し、YOXOカレッジと連携しながら、事業化支援プログラムなどを追加で実施予定。

✓ YOXOカレッジ起業部の発足

令和4年4月、YOXOカレッジ事業の一環で実施した学生起業家のビジネスコンテストを契機に、新規事業を通じて未来をつくらうとする横浜の30歳以下の学生が集まり、互いに支え合い・刺激し合い・成長する場をつくることを目指す、YOXO（よくぞ）カレッジ起業部が発足。



ROADMAP

- STEP 1 マインドセット獲得
本業を営むイノベーターとして在る姿を確立するために、プロフェッショナルな起業家と共同でメンタリングを実施する。
- STEP 2 アイデア創出
本業を営むイノベーターの考えを共有し、アイデア創出のための情報共有し、互いに刺激し合う場を設ける。
- STEP 3 起業/社会実装知識獲得
創業意識の醸成、経営の仕組み、社会実装、イノベーションに必要なスキル等の知識の習得を促す。
- STEP 4 ビジネスプラン立案支援/PoC
個別のアイデアを支援する場、プラン作成から検証に集中し、より実践的な知識習得を促す。
- STEP 5 起業実践/社会実装
スタートアップに必要な知識・情報にアクセスし、プロフェッショナルなメンタリングを受けながら、事業化に向けた実践・実装活動のサポートを実施する。

CURRICULUM CONTENT

横浜から世界へ。革新を生み出す人材を目指す実践型カリキュラム。

社会課題の解決、経営シナリオの実現のそれぞれのイノベーションに必要なスキルを段階的に習得し、ガクチカを認め、一人ひとりの目標に合った学びを提供し、知識・技術の習得を促します。

【横浜市の取組】 VI.都市の環境・繋がり の状況

1. 都市の集積・環境の概要 (グローバルな人材を惹きつける環境)

研究開発型の企業が多数集積するみなとみらい21地区と、ベンチャー企業が集まる関内地区をツインコアとして、両地区が徒歩圏でつながるという地理的優勢を活かしつつ、関内地区に開設したスタートアップ・起業家の成長を支援する拠点YOXO BOXを中核として、イノベーション人材の集積が交流して、イノベーション・エコシステムを形成していく。

同地区以外でも、IHI・AGC・古河電工など大型のオープンイノベーション志向のR&D拠点の整備が進んでおり、横浜のまちぐるみのイノベーションが盛り上りを見せている。

ものづくり6,000事業所、IT企業3,000社の産業の厚み、27大学（9理工系大学含む）・理化学研究所などの大学・研究機関の集積、豊富な技術者・エンジニアの人材力（住民比では日本最高）などの横浜らしい強みをオープンイノベーションに活かしていく。

インターナショナルスクールとしては、東京独逸学園・横浜山手中華学校・横浜中華学院・インディアインターナショナルスクールインジャパン横浜校・横浜インターナショナルスクールなどがある。

2. スタートアップ支援の中心となる主な施設・場 (公的施設・民間施設)

- (1) YOXOBOX (中区尾上町1丁目6番)
※横浜市運営拠点。



- (2) SHINみなとみらい (西区みなとみらい3-7-1 Wework内)
※神奈川県運営拠点

- (3) 東工大ベンチャープラザ (緑区長津田町4259-3)

- (4) 三菱重工 Yokohama Hardtech Hub (中区錦町12)

- (5) Wework Ocean Gate みなとみらい, G Innovation Hub YOKOHAMA, CREATIVE SPORTS LAB など、民間運営のシェアオフィス/コワーキングスペース多数

- (6) 京セラ みなとみらいリサーチセンター (西区みなとみらい3丁目7-1)

- (7) 資生堂 グローバルイノベーションセンター S/PARK
(西区高島1丁目2-11)

- (8) IHIグループ横浜ラボ、IHIつなぐラボ (磯子区新中原町1)

- (9) 古河電工 オープンラボ Fun Lab® (西区岡野2丁目4-3)

- (10) 村田製作所みなとみらいイノベーションセンター
(西区みなとみらい4丁目3)

- (11) 横浜市が整備したインキュベーション施設

ア.リーディングベンチャープラザ (鶴見区末広町1-1-40)

イ.横浜市産学共同研究センター (同上)

ウ.金沢ハイテクセンターテクノコア (金沢区福浦1-1-1)

- (12) 産学連携イノベーション拠点NANA Lv.



横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス